

# 川上ダム通信

2012

4  
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## 第2回ダム検証幹事会開催



事務局として挨拶する水資源機構  
関西支社の原支社長

平成23年1月に川上ダム建設事業の検証を目的として設置した「川上ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」の第2回幹事会が、平成24年3月23日に大阪で開催されました。今回の幹事会では、治水対策案の検討として、複数の治水対策案の立案について討議されました。

淀川水系は全国でも有数の大河川であり、検討作業は非常に複雑で時間を要しますが、近畿地方整備局と連携し、スピード感を持って、かつ、予断無く検証を進めてまいります。

【調査設計課長 松村貴義】

## 産業建設常任委員会に川上ダムを視察していただきました

平成24年3月16日、伊賀市議会産業建設常任委員会（9名）による付替県道青山美杉線工事現場の視察が行われました。

川上ダム建設所では、同委員会の方々に対して、付替県道青山美杉線トンネル工事及び貯水池横断橋工事の概要と進捗状況をご説明するとともに、同トンネル坑口より工事現場を視察していただきました。付替県道青山美杉線の事業工期や貯水池横断橋の構造などの質問があり、パネルや図表等の資料を用いてご説明いたしました。

【第二用地課 松高遵】



工事の進捗状況の説明

**twitter**  **始めました！！**

水資源機構では平成24年3月16日より、公式ツイッターの運用を開始しました。公式アカウント等の詳細は水資源機構のHP (<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/twitter/index.html>) をご覧ください。皆様からのフォローをお待ちしております。

# 速報 トンネルと橋梁の名称決まる！

## 【速報】トンネル名・橋梁名決まる

現在、施工中のトンネル工事と横断橋工事について、名称が決まりましたのでご報告いたします。  
名称は、地元関係地区の代表者（川上区・種生区・下高尾区・高尾住民自治協議会・川上地区ダム対策委員会）によりご検討の上、決定していただいたものです。

トンネル名：「<sup>きたの</sup>北野トンネル」

（理由）トンネルが建設されている箇所が、川上字北野であることです。

橋梁名：「<sup>ねこ</sup>猫また大橋」

（理由）川上・種生地区では、昔から橋梁が施工されている箇所を猫またと呼んできました。猫またの由来は、地形が急峻で、猫でも歩くのに気をつけて通る場所と言われてきたことです。命名には、言い伝えの伝承、急峻な地形での安全通行を願い決定されました。大橋とするのは、青山地区で最も長い橋梁（L=226m）となるためです。

## 【速報】付替県道青美線第2工区その4工事の施工業者決定

付替県道青美線工事の最後の道路工事であります付替県道青美線第2工区その4工事の施工業者が、3月15日に名工建設株式会社に決定いたしました。詳細について次号で報告いたします。

### 付替県道工事の1年間の進捗状況

トンネル工事は、平成23年4月時点で地山の掘削を始めた段階でしたが、1年後の3月時点では、トンネル257mは貫通しました。残すは、トンネル周辺の排水側溝等の付帯工事のみとなりました。

横断橋工事は、平成23年4月時点でP1橋脚の基礎掘削を施工している段階でしたが、1年後の3月時点では、P1橋脚が完成し上部工を施工しています。また、平成23年4月時点で、P2橋脚は、基礎掘削をするための止水工を施工している段階でしたが、1年後の3月時点では、P2橋脚は、34m/35.5mまで施工が完了しております。



トンネル工事(平成24年3月現在)

【工事課 森岡浩然】



1年間の工事によりP1橋脚、P2橋脚が出現しました。



(H23.4月現在)



P2橋脚

P1橋脚



P1橋脚

(H24.3月現在)



# 青蓮寺湖を駆け抜けました

平成24年2月26日、名張市が主催する第26回名張青蓮寺湖駅伝競走大会が、名張市にある青蓮寺湖ダム周回コースで開催されました。四半世紀もの歴史を有する同大会は、男子の部（20.24 km、6区間）と女子の部、男女混成の部（ともに13.6 km、5区間）の3種目で構成されており、今大会には、総勢79チーム（男子の部：41チーム、女子の部：6チーム、男女混成の部：32チーム）が参加しました。

先月号でもご紹介しましたとおり、川上ダム建設所も「チーム川上」を結成し、男子の部に出場しました。また、水資源機構の関西支社（大阪）からの2チームと、木津川ダム総合管理所（名張市）からの4チームも出場しました。この駅伝大会は、例年ハイレベルな闘いが繰り広げられるということで、チーム川上も、大会で少しでも良い成績が残せるように、また社内で最下位にだけはならないように、夜な夜な練習を重ね、闘いに備えてきました。

大会当日は気温が低く、時折雪がちらつく場面もありましたが、チーム川上は熱い風となって青蓮寺湖を駆け抜けました。心臓破りの上り坂でも、また途中で足がつりそうになっても、沿道の方々の声援を背に、最後まで走り切ることができました。所長の神矢を筆頭に、3度の飯よりマラソンが好きなメンバーを揃えて出場したチーム川上でしたが、最終順位は41チーム中38位（タイム：1時間41分23秒）とふるいませんでした。ですが、社内対決においては、なんとか最下位を免れ、次回に繋がる結果となりました。

最後となりましたが、寒い中、沿道で最後まで声援を送って下さった皆様、交通整備を引き受けて下さった皆様、そしてこのようすばらしい大会を運営いただいた大会本部の皆様、改めて御礼申し上げます。

【総務課 堀雅智】



緊張のスタート・・・



見事（！？）38位のチーム川上

## お知らせ！ 環境用語の解説

環境にかかわる用語はたくさんあります。しかし、「よく聞く言葉だけどこれって何のことなの」というものが多くあると思います。次号からこのような疑問に「環境用語の解説」としてシリーズでお答えしていきます。

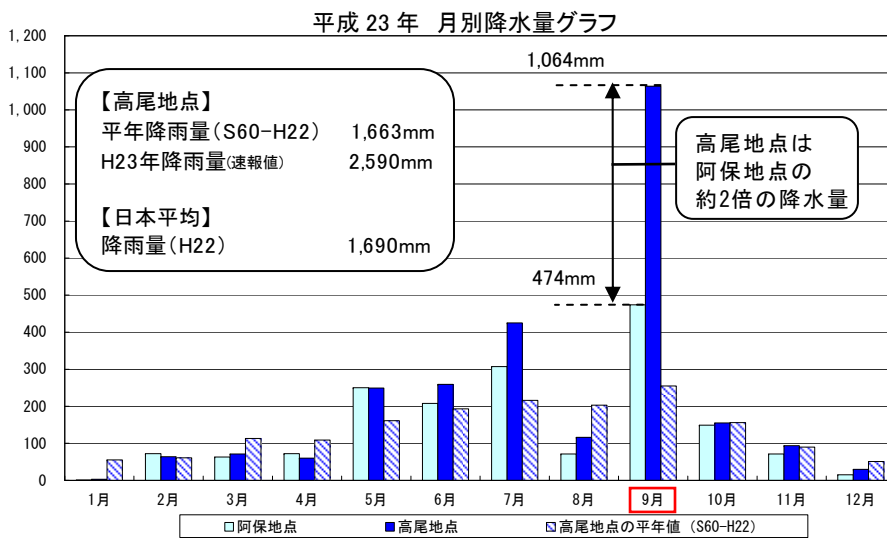
# 平成23年の気象の特徴は？

平成23年の気象の特徴はなんと言っても、台風12号と15号の襲来した9月の降雨量の多さです。特に紀伊半島南部では、土砂崩壊によって17箇所の河道が堰止められ、地域に大きな被害と不安をもたらしました。

川上ダムで観測している高尾地点の雨量も、9月に突出した値を記録しています。また、同じ流域でも山間部の高尾地点は、約6キロ下流の平野部の阿保地点に比べ約2倍の降雨量でした。雨の降っていない地域でも上流域の降雨により、下流の河川は増水している可能性がありますので出水期の河川は特に注意が必要です。平成23年の年間雨量は、この9月の出水によって昭和60年の観測開始以来最多となる2,590mm（平年の約1.5倍に相当）を観測しました。

平成23年は自然災害の脅威を痛感させられる年でした。引き続き高い防災意識を持って、業務にあたっていきたいと思います。

【調査設計課 本田真章】



通常時の前深瀬川  
(下流より要石大橋を望む)



台風15号襲来時の前深瀬川

## イベントのお知らせ

### 上野公園の桜

高さ30mもの急峻な石垣を持つ白亜の上野城がシンボルの上野公園には、約800本のソメイヨシノが咲き、城に霞がかかったように美しいとのこと。周囲には伊賀流忍者博物館（忍者屋敷）や芭蕉翁記念館、俳聖殿、上野城などの名所・旧跡がたくさんあります。

住所：伊賀市上野丸の内（上野公園）

見所：4月上旬

料金：無料

駐車場：周辺に500台駐車可（1回500円）

### 名張桜まつり～桜の下で逢いましょう～

17回目を迎える春の風物詩「名張桜まつり」、名張中央公園内道路沿いの桜並木（約600m）に提灯を点灯し、歩行者でんごく（一部区間）として開放します。

イベント日：4月14日（土）10:00～16:00 飲食等の模擬店、フリーマーケット、ダンスやバンド等の舞台イベントなど、皆様にお楽しみいただける内容が盛りだくさんです。

見所：3月16日～4月20日（桜の開花状況により変更）

場所：名張中央公園

開催時間：9:30～21:30

集約規模：30,000人

駐車場：イベント日当日のみ有料

## 編集後記

ダム通信4月号が皆様の手元に届く頃には、冬が終わりを告げ、暖かい桜の季節になっている頃だと思います。

桜の季節は、入社式、転勤の時期でもあります。新たなる出会いに刺激を受けながら、心機一転、新年度も業務に励みたいと思います。

### 【広報誌発行事務局】

編集長 神矢（所長）  
デスク 大友（総務課長）  
" 足達（工務課長）  
記者 堀（総務課）  
松高（第二用地課）  
森岡（工事課）



ISO14001: 2004

JQA-EM576m

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。  
ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆  
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇